
わたしも賄賂を犯した

たかぴょん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

わたしも賄賂を犯した

【Nコード】

N0874D

【作者名】

たかぴょん

【あらすじ】

社会人となつてみて、テレビジョンで報じられる賄賂についての認識が変わった。わたしはそんな場面に顔を合わせる立場となって、正義面という皮を被ることの難しさを知る……。

しんしんと真つ暗な天から雪の玉が落ちてくる。天使が寝巻きを羽織りながら、数えられないほど遠い？この世の天井？のタイルに片方の掌をあてがう。楽な姿勢をキープしながら、その口から雪を吐く。なるほどそうやって雪は積もって行くのか。彼女の吐息をこぼした。アインシュタインでさえ解き明かせなかった謎である。

わたしは雪国新潟、県道路肩にあるビジネスホテルに泊まっている。変色したアスファルト地は、雪景色と肩を張ってマイナス四度を上らないよう、少しでも争え。

新潟の空と地である。わたしはそんな静寂な両雄の争いをホテルの一室から眺めていた。室内は二十八度に設定した。備え付けのビデオは女性の裸と天気予報が交互に流される。フロント曰く

「お客様、本日はご宿泊誠にありがとうございます。今回のお部屋は成人向け専用カードを買わなくても、当該チャンネルをこゆつくりとご覧いただけます」

なんでも、華やかな生殖風景が垂れ流しであるそうだ。

わたしは三者の競合に目を見張っていたため、一睡も出来なかった。

朝はコーヒーを五杯たいらげた。自慰行為をやり過ぎたため、腹が減っている。バターロールのサンドイッチ、ご飯、豆腐味噌汁、焼き鮭、肉じゃが、お新香、煮魚、焼きそば、野菜炒め……有りとあらゆる朝食を吐くほど食べた。まだねぼけまなこで帰り際フロントへ。領収証を切ったら、朝食バイキング代が宿泊費として計上されていた！

大柄な四十代半ばの、元テニス部風の男性だった。わたしのためだ

と言つて『防衛庁ゴルフ接待疑惑』ではないが、あくまでも？二度と会わない一見さん？ヘサービスをしたというわけだ。手に取ると『N様宿泊費として、領収金¥7020也』とある。確か1320円が朝食バイキング代だったと思う。

あれ以来、あのビジネス・ホテルへは泊まっていない。あの細川護熙風のフロント・マネージャーとも会っていない。もちろん新潟の街並みとも会っていない。

きつと彼はそれを予期していたのだ。

東口改札を出て、交番を右へ曲がり数件の居酒屋を通り越し、昼食時は喫茶店になっているあのホテル。今も関係者一同面々、元気でやっているだろうか。清掃の女性、曇った窓ガラスを滴る露。

やはり時は止まらなかった。あれから六年。

粹なフロント・マネージャーは、こうなってしまうことを知っていたのだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0874d/>

わたしも賄賂を犯した

2011年1月14日14時28分発行